

## 第2回 肱川橋周辺まちづくり検討委員会 議事録（概要版）

日 時：平成 21 年 12 月 18 日（金）

13:30～15:30

場 所：大洲市民会館 中ホール

出席者：委員 11 名ほか

### 開会

### 議事

#### 1. 第1回検討委員会のおさらい

事務局

【「第2回説明資料」P.1～6の説明】

#### 2. 橋梁形式の選定

事務局

【「第2回説明資料」P.7～23の説明】

#### 3. 歩行者空間のデザイン検討

事務局

【「第2回説明資料」P.24～38の説明】

#### 4. 質疑応答

##### 橋梁形式について

委員長

- ・今の説明に関連して、まずは2章「橋梁形式」について、委員の皆様からご意見・ご質問等を受け付けたい。

A委員

- ・現橋と類似したコンクリートの桁橋形式を予定されているとのことであるが、500年から1000年の耐久性を持った橋梁としてほしい。なお、私が関係した寺の建築では、200年の耐用年数のあるコンクリートを採用した。
- ・「長寿命のコンクリートを使用している」ことが、利用者にとって精神的に安心して橋を渡れる事に繋がる。是非、その様な長寿命の材料を使用していただきたい。

事務局

- ・土木構造物としては、一般的に100年間の寿命を考慮した設計としている。

B委員

- ・構造的にも問題なく、橋上からの景観を考えると、他に比べて4径間の桁橋が良いと考える。

#### C委員

- ・桁橋形式は、景観的にも風景にマッチするので、良いと思う。  
特に霧が多い時期でも大洲城が映えるよう、シンプルな桁橋が望ましいと考える。

#### D委員

- ・橋梁形式の比較において、アーチなどの下路橋や斜張橋は、地域のシンボル性、ランドマーク性、南北を結ぶ門構え的なイメージ性を持たせる利点がある。  
但し、本橋の場合は、桁橋がそれに勝る優位性がある、という点を強調したい。

#### E委員

- ・現橋でも、観光客が立ち止まって写真撮影や休憩をしているため、橋上にバルコニーの設置を希望する。

#### 委員長

- ・バルコニーは、3章「歩行者空間のデザイン」における議題としたい。
- ・橋脚の装飾について、意見があればお願いしたい。

#### 事務局

- ・橋脚表面の石張り仕上げについて、以前にご意見を伺っているが、基本的には通常のコンクリートの橋脚を予定している。

#### 委員長

- ・橋梁形式について特に異論が無い様であれば、委員会として4径間の桁橋案を推奨する。

#### バルコニーについて

#### 委員長

- ・「歩行者空間のデザイン」として、バルコニーについて、ご意見・ご質問等を受け付けたい。

#### A委員

- ・資料では、橋脚ごとの全部6カ所で3,500万円の工費増とされているが、中央の2カ所だけでも欲しい。その場合、費用が1/3となり、少ないコストで対応できると思う。

#### C委員

- ・歩道自体が3.0mに広がるのであれば十分と考えられるため、個人的には要らないと思う。

#### 委員長

- ・国道56号は幹線道路であるため、利用する全ての人にとって快適な橋とするためには、装飾性をあまり出さない事が望ましい。

#### E 委員

- ・大洲道路ができたことによって、肱川橋を通過するトラックなどは少なくなった。結果、橋の利用は肱南・肱北地区の住民の行き来が大半となった。周辺にも橋はあるが距離があるため、ほとんどの住民は、肱川橋を利用している。国道の橋であるが、実際には地域の橋として機能している。
- ・大洲は観光に力を入れている町なので、観光地としての利用価値も求めて欲しい。

#### B 委員

- ・バルコニーの設置については、工事費の増加の問題ではなく、桁橋に設置することによってデザインのマイナスであることが言える。マイナスの特徴がある橋となっては困る。

#### F 委員

- ・延長 200mの本橋は、渡るのが大変な、途中で休む様な長い橋ではない。このため、橋詰に風景を楽しめる視点場（休憩場所）を確保する事で、十分と考える。
- ・バルコニーより、演出照明や高欄デザインに拘ることで心地よさを追求すべきと考える。

#### G 委員

- ・花火や鶉飼いの時は、橋の上に人が多く集まり危険であり、警察も立ち止まらせないように注意を促している。橋は、安全で安心なものとして欲しい。
- 橋の上は、花火を見るところではないと考える。休憩場所は、橋詰で考えて欲しい。

#### H 委員

- ・議論を聞いた結果として、橋が景観を壊さないようにするべきと考える。

#### 委員長

- ・土木構造物は巨大なものであるなので、目立たず、シンプルなものとするべきである。
- ・歩道が 3.0mに広がるので、立ち止まっている人が原因で通れなくなる事はなく、機能的には必要ないと言える。
- ・委員会としては、バルコニーは設置しないこととする。

### 橋上のデザインについて

#### 委員長

- ・橋上のデザインについて、意見をお願いします。

#### A 委員

- ・高欄の高さについて、どの様に決められているか説明をお願い致します。

#### 事務局

- ・国土交通省の基準に準拠し、笠木は路面から 1.1m、手すりは 0.8~0.85mを考えている。

#### G委員

- ・デザイン案-Bの高欄の手すりは、子供がよじ登る事も考えられるため、利用者の安全性にも十分留意してほしい。

#### 事務局

- ・高欄の詳細については、第3回委員会にて検討させていただきたい。  
なお、高欄は「縦棧型」を基本としている他、手すりの高さも0.8mとし、子供が一人では登れない高さとしているため、ご指摘の危険性は少ないと考えている。

#### C委員

- ・周辺は高齢者が多く、交通事故も発生しているため、バリアフリーに配慮していただきたい。

#### 委員長

- ・バリアフリー対策は、交通事故の防止には直接繋がらない事項であるが、具体的にどの様にしたら良いか意見を聞かせて欲しい。
- ・また、舗装などについても意見があれば、お寄せください。

#### A委員

- ・デザイン案-Bの高欄については、是非採用して欲しい。

#### B委員

- ・橋上には歩車道間に防護柵が設置されているが、街路にも必要ではないか。デザインの的にも連続性に欠けると考える。

#### 事務局

- ・以前、福岡において、橋の下に落下する事件があった。大きな2次被害に繋がる可能性がある橋では、歩車道境界に車両用防護柵を設置している。  
本橋においても、川辺に遊歩道などの河川観光があるため、設置する。

#### I委員

- ・全ての道に防護柵を設置する事が理想であるが、現実的でないので、橋の上では必ず設置された方が安全性は高い。

#### J委員

- ・土工区間では、縁石にて路外逸脱を防止することが基本的な考え方となる。  
但し、急カーブ区間や橋の上など、路外逸脱による2次被害の発生が容易に考えられる箇所では、防護柵により路外逸脱を防止することとしている。

委員長

- ・歩車道間に車両用防護柵を設置しない場合は、歩道のマウントアップを行う必要がある。  
これに伴い、橋詰め部の縦断勾配が 5%以上となる問題点があるため、本橋では車両用防護柵の設置を想定している。

B 委員

- ・了承した。

委員長

- ・本橋では、車両用防護柵を設置することとする。

D 委員

- ・車両用防護柵や舗装などは、将来の部品交換を考慮すると、汎用品を用いるのが望ましい。

事務局

- ・車両用防護柵は、既製品の中から選定している。

溜まり空間について

委員長

- ・溜まり空間について、意見をお願いします。

F 委員

- ・可能であれば、溜まり空間は橋詰に設置し、川の遊歩道と一体感を持たせて欲しい。  
また、再建される観測所は、大洲城と連携する瓦屋根の四阿（あずまや）にこだわらず、木による緑陰の提供や風除けができるものであることが重要と考える。

K 委員

- ・川との一体感という意味合いから、右岸に設置される工事用道路は、残していただきたい。  
また、左岸の川へ降りる階段について、観測所の再建においては是非留意していただきたい。
- ・これからの「まちづくり」については、来年度より実施する懇談会で話し合っていきたい。

委員長

- ・アプローチ道路（沿道建築や街路景観）について方向性が得られれば、橋の上のデザインはそれに合せることが望ましい。
- ・次回の委員会までには、大洲市としての意見・要望をとりまとめて欲しい。
- ・なお、迂回路との関連から、大きな土地が確保できる可能性も考えられる。

#### E 委員

- ・ 右岸の工事用道路の空間は、祭などでの利用も多いに考えられる。工事後も何らかの形で残して欲しい。

#### その他

##### 委員長

その他の事項で何かあれば、ご意見をお願いします。

#### B 委員

- ・ 桁の真下からの眺めが重要と考える。添架管を隠すなどの工夫を希望する。

##### 事務局

- ・ 部分的なカバーの設置も含め、検討していく。

#### A 委員

- ・ 照明等については、LEDや太陽光など、省エネをコンセプトとすることを希望する。

##### 事務局

- ・ 随時、最新の技術を取り入れて、検討する。

##### 委員長

閉会のことば

##### 事務局

【事務連絡】

#### 閉会